

IV 資料編

平成 30 年度 大田区 10 か年基本計画 「おおた未来プラン 10 年（後期）」に係る区民アンケート調査

大田区では、区の将来像「地域力が区民の暮らしを支え、未来へ躍動する国際都市 おおた」の実現をめざし、平成 21 年度にスタートした大田区 10 か年基本計画「おおた未来プラン 10 年」を着実に推進してまいりました。

未来プラン（後期）の計画期間が今年度で終了することから、これまでの取り組みの成果を確認するとともに、今後の政策形成につなげていくため、区民の皆様のご意見を幅広く伺い、区政運営の参考とさせていただきたく、本アンケート調査を実施する運びとなりました。

この調査は、大田区にお住まいの 18 歳以上の方から無作為に 2,400 名を選ばせていただき、ご協力をお願いするものです。

ご回答は無記名でお願いし、調査結果はすべて統計的な数値としてとりまとめますので、プライバシーに関わる内容が公表されることは一切ございません。ぜひ、率直なご意見をお聞かせください。

お忙しいところ大変恐縮ではございますが、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

平成 30 年 7 月 吉日

大田区 企画経営部 企画課

ご記入にあたってのお願い

1. 郵送、または大田区ホームページからの電子申請によりご回答をお願いします。調査は無記名ですので、日ごろからお感じになっていることを率直にご回答ください。
2. 封筒のあて名の方がご回答ください。
3. 設問文の指示にしたがって、該当する回答（選択肢）の番号を○で囲む、あるいは記入欄に番号を記入してください。
4. 回答の○の数は、（1つだけに○）（複数回答可）のように示してありますので、それに合わせてお選びください。
5. 設問によって回答していただく方が限られる場合があります。説明文や矢印に従ってお進みください。特に説明等のない場合は、次の設問にお進みください。
6. 「その他」にあてはまる場合は、お手数ですが（ ）内にその内容をできるだけ具体的に
ご記入ください。

郵送・電子申請いずれの回答方法の場合も

平成30年7月30日（月）までに、ご返送ください。

- この調査の内容などについてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

大田区 企画経営部 企画課 企画担当

☎ 03-5744-1735（ダイヤルイン）

受付時間：平日 9:00～17:00（土・日・祝祭日除く）

調査の回答方法

回答は、【郵送】または【電子申請】のどちらか1つをお選びください。

● 郵送による回答方法

- (1) 調査票に記載の設問文をお読みいただき、あなたのお考えに近い選択肢やあてはまる選択肢を選んで、直接回答を書き込んでください。
- (2) 同封している返信用封筒（切手不要）に回答を記入した調査票のみを折りたたんで入れて、締切日（平成30年7月30日（月））までにポストに投函してください。

● 電子申請による回答方法

パソコン、携帯電話、スマートフォンのいずれの方法でも、申請者 ID とパスワードが必要です。申請者 ID とパスワードは、同封している別紙をご覧ください。

- * セキュリティ確保の為、調査票画面を開いてから **60 分** で接続が切れる仕組みになっておりますので、時間内にご回答くださるようお願いいたします。

《パソコン》 ※ご利用の際は動作環境をご確認ください。

- (1) 大田区ホームページを開いてください。 <https://www.city.ota.tokyo.jp/>
- (2) 下図のようなトップページが開きますので、画面上部の【区政情報】から【区のプラン（計画や施策など）】をクリックしてください。

展開したページ内の【平成30年度 大田区10か年基本計画「おおた未来プラン10年（後期）」に係る区民アンケート調査】をクリックすると、(3)のページへ進みます。

※トップページのお知らせ欄、「平成30年度 大田区10か年基本計画『おおた未来プラン10年（後期）』に係る区民アンケート調査を実施しています」からも、(3)のページへ進むことができます。

- (3) 下図のような本調査の概要をお知らせするページが展開します。電子申請用ページに移行するリンクがありますので、クリックしてください。

大田区 地域力・国際都市 おおた

音声読み上げ・文字拡大 Multilingual トップページ サイトマップ

生活情報 よくある手続き 施設案内・予約 区政情報 よくある質問

現在のページ: 大田区ホームページ > 区政情報 > 区のプラン(計画や施策など) > 平成30年度 大田区10か年基本計画「おおた未来プラン10年(後期)」に係る区民アンケート調査

平成30年度 大田区10か年基本計画「おおた未来プラン10年(後期)」に係る区民アンケート調査

更新日:2018年7月6日

このページは、「平成30年度 大田区10か年基本計画『おおた未来プラン10年(後期)』に係る区民アンケート調査」の調査対象者専用ページです。

電子申請による回答
以下のリンクから、電子申請のページへ移行します。

大田区10か年基本計画「おおた未来プラン10年(後期)」に係る区民アンケート調査に回答する

区政情報 > 区のプラン(計画や施策など)

- 個別分野のプラン
- 事務事業の検証・評価・外部監査
- 指定管理者制度
- 主要施策の成果

関連情報

- おおた区報平成30年6月

締切日
平成30年7月30日(月曜日)

- (4) 利用規約をご確認のうえ、「利用規約に同意する」をクリックすると、ログイン画面が表示されます。別紙の申請者 ID とパスワードを入力し、ログインしてください。
- ※パソコンの「戻る」機能は使えません。
- (5) お送りした調査票と同じ内容の画面が開きますので、順番に設問に沿ってお答えください。

【注意事項:冒頭の「申請者ID」の欄について】

自動で表記される箇所(下図の上段)は、「入力してください」と記載されていますが、**入力を行わずそのままにしてください。**

<例>

申請者ID (必須)

この項目は変更しないでください。

64文字以下で入力してください。

大田区 回答ユーザー0001

- (6) すべての回答が終わりましたら、「回答内容確認」ボタンをクリックすると、入力した内容が表示されます。確認が済みましたら「回答する」ボタンをクリックしていただきますと、回答は終了です。

【注意事項:回答終了後のご案内メッセージについて】

申請終了後、下図のご案内が表示されますが、**到達番号と問い合わせ番号をお控えいただく必要はありません。**電子申請に関するお問い合わせの際は申請者IDとパスワードが必要になりますので、**予めご承知おきください。**

「問合せ番号」はメールでは通知いたしません。

「到達番号」と「問合せ番号」は、この後の回答状況を照会する時などに必要となりますので、内容を確認の上、このページを印刷するか、メモに取るなどして、必ず控えるようにしてください。

到達番号 : 51_316_395_0133

問合せ番号 : 101110

今回の調査の場合「到達番号」と「問合せ番号」は使用できませんので、お控えいただく必要はありません。

お問い合わせについて

ご回答頂いた内容等のお問い合わせには、上記「到達番号」と「問合せ番号」が必要になります。このページを印刷して保管してください。

《携帯電話・スマートフォン》 ※ご利用の際は動作環境をご確認ください。

(1) 下記に記載の【QRコード】を読み取ると、電子申請の画面が開きます。

携帯電話版 QR コード	スマートフォン版 QR コード
	

※通信に必要なパケット料は、利用者様の負担となります。

※携帯電話・スマートフォンの「戻る」機能は使えません。

- (2) 利用規約をご確認のうえ、「利用規約に同意する」をクリックすると、ログイン画面が表示されます。別紙の申請者 ID とパスワードを入力し、ログインしてください。
- (3) お送りした調査票と同じ内容の画面が開きますので、順番に設問に沿ってお答えください。

【注意事項:冒頭の「申請者ID」の欄について】

自動で表記される箇所(下図の上段)は、「入力してください」と記載されていますが、**入力を行わずそのままにしてください。**

<例>

申請者ID

彩葉

この項目は変更しないでください。

64文字以下で入力してください。

大田区 回答ユーザー0001

この欄には入力せず、そのままにしてください。

(4) すべての回答が終わりましたら、「回答内容確認」ボタンをクリックすると、入力した内容が表示されます。確認が済みましたら「回答する」ボタンをクリックしていただきますと、回答は終了です。

【注意事項:回答終了後のご案内メッセージについて】

申請終了後、下図のご案内が表示されますが、**到達番号と問い合わせ番号をお控えいただく必要はありません。**電子申請に関するお問い合わせの際は申請者IDとパスワードが必要になりますので、**予めご承知おきください。**

「問い合わせ番号」はメールでは通知いたしません。

「到達番号」と「問い合わせ番号」は、この後の回答状況を照会する時などに必要となりますので、内容を確認の上、このページを印刷するか、メモに取るなどして、必ず控えるようにしてください。

到達番号 : 51_316_395_0133

問い合わせ番号 : 01000

今回の調査の場合「到達番号」と「問い合わせ番号」は使用できませんので、お控えいただく必要はありません。

お問い合わせについて

ご回答頂いた内容等のお問い合わせには、上記「到達番号」と「問い合わせ番号」が必要になります。このページを印刷して保管してください。

■ 大田区が推進すべき取り組みについて

問1. 現在お住まいのまちについて、最近5～10年間における変化をどのように感じていますか。

(項目ごとに1つだけに○)

n = 777

		良くなった (増えた)	変わらない	悪くなった (減った)	わからない	無回答
1. 交通機関の利便性	⇒	22.0%	64.4	5.8	5.7	2.2
2. 買い物の利便性	⇒	34.4	51.5	9.0	3.6	1.5
3. 病院・医院など医療機関の数や質	⇒	14.3	65.4	11.2	7.6	1.5
4. 住環境(住まいや周辺の環境)	⇒	15.2	62.5	15.4	5.1	1.7
5. 地域への愛着	⇒	21.0	66.7	3.2	7.2	1.9
6. まちの雰囲気や活気	⇒	15.3	58.4	18.4	5.9	1.9
7. 緑や水辺などの自然環境	⇒	15.3	64.2	12.4	6.6	1.5
8. 道路の整備状況	⇒	24.3	61.8	7.1	5.1	1.7
9. 仕事(商売)のしやすさ	⇒	2.4	46.3	13.1	35.3	2.8
10. 商店街の品揃え	⇒	10.2	44.7	33.6	9.7	1.9
11. 近所付き合いのしやすさ	⇒	5.9	63.3	17.5	11.6	1.7
12. 福祉施設や福祉サービスの充実度	⇒	12.6	43.9	9.5	32.3	1.7
13. 安心して子育てできる環境	⇒	9.7	41.6	12.6	33.1	3.1
14. 子どもの教育環境	⇒	9.3	42.2	11.3	35.0	2.2
15. スポーツや余暇活動の充実度	⇒	9.5	51.6	8.2	28.3	2.3
16. 防災・防犯への備えに対する安心感	⇒	12.1	55.7	12.9	17.6	1.7
17. 区政における区民意向の反映状況	⇒	4.0	41.4	13.0	39.5	2.1
18. 生涯を通じて学習できる環境	⇒	8.1	42.7	7.9	39.4	1.9
19. 自治会・町会活動への参加回数	⇒	6.2	51.4	15.4	24.8	2.2

IV 資料編

問2. 大田区では、今後5～10年程度の間に、区の施策としてどのような取り組みを重視していくべきでしょうか。あなたの考えに最も近いものを選んでください。

(項目ごとに1つだけに○)

n = 777

		最優先で 進めるべき	優先的に 進めるべき	これまでも 同程度でよい	取り組みを 縮小すべき	わからない	無回答
1. 防災対策の強化	⇒	36.6%	47.1	12.4	0.0	2.2	1.8
2. 防犯対策の強化	⇒	25.6	50.6	20.2	0.1	1.5	1.9
3. 安心して子育てできる環境づくり	⇒	25.4	41.3	22.1	0.1	8.6	2.4
4. 貧困などの困難を抱える子どもへの支援	⇒	18.9	40.7	26.6	0.9	10.7	2.2
5. 子どもの学力・体力の向上	⇒	13.6	38.2	35.9	0.1	9.8	2.3
6. 高齢者福祉の充実	⇒	16.9	41.3	32.7	3.1	4.6	1.4
7. 障がい者福祉の充実	⇒	11.6	36.8	39.8	0.8	9.0	2.1
8. 健康づくりの推進	⇒	5.8	35.1	50.3	2.2	4.9	1.7
9. 緑化の推進・景観の向上	⇒	9.7	32.7	51.1	1.5	3.0	2.1
10. 地球温暖化対策や気候変動への適応対策の強化	⇒	17.9	37.5	35.5	2.2	5.3	1.7
11. 道路・橋梁・公園などの整備	⇒	8.5	31.5	53.2	2.6	2.8	1.4
12. 安全・安心に移動できる交通環境の創造	⇒	11.7	35.9	46.2	1.2	3.3	1.7
13. 誰もが身近でスポーツができる環境づくり	⇒	5.7	22.9	60.1	3.2	6.4	1.7
14. 生涯学習の推進	⇒	4.5	20.8	58.8	3.6	10.2	2.1
15. 地域文化の振興	⇒	1.5	16.3	67.8	3.2	8.5	2.6
16. ものづくり産業の維持・発展	⇒	7.7	32.4	49.5	1.4	6.7	2.2
17. 商店街の活性化	⇒	9.8	39.1	41.3	2.7	5.5	1.5
18. 観光の振興	⇒	3.6	19.8	58.9	7.6	8.4	1.7
19. 国内外からの来訪者増加によるまちの活性化	⇒	4.2	18.8	55.6	10.6	9.3	1.5
20. 国際交流・多文化共生の推進	⇒	4.5	19.3	56.4	7.7	10.2	1.9
21. 自治会・町会活動活性化のための支援	⇒	1.8	15.1	65.6	7.5	8.4	1.7
22. 消費者を支援する取り組みの充実	⇒	5.4	25.7	56.0	2.2	8.8	1.9
23. 区政運営の効率化、行政サービスの充実	⇒	10.0	34.5	44.5	1.3	7.9	1.8
24. 区政情報の発信強化、区政への区民参画推進	⇒	5.0	22.4	58.7	2.6	9.4	1.9
25. 地域活動団体・民間企業等との連携強化による区民サービスの向上	⇒	6.3	25.9	52.9	1.5	11.8	1.5

■ 大田区のイメージについて

問3. あなたは、現在お住まいのまちに対して、今後、どのようなまちになって欲しいとお考えですか。期待するイメージとして最もふさわしいと感じる都市像を1位から3位まで1つずつ選び、番号を右欄にご記入ください。

n = 777

	1位	2位	3位
1. 治安の良いまち	36.6%	15.7	8.6
2. 災害に強いまち	15.7	17.6	6.8
3. 健康に暮らせるまち	6.4	8.0	8.1
4. 高齢者が活躍するまち	1.9	2.8	3.0
5. 福祉の充実したまち	3.5	8.1	8.0
6. 子育てしやすいまち	10.0	9.0	7.2
7. 産業が活発なまち	2.6	2.7	4.4
8. 便利に暮らせるまち	8.8	12.5	12.4
9. 緑の多いまち	2.3	4.0	7.2
10. 環境にやさしいまち	0.9	2.8	5.7
11. 区民が支えあうまち	2.6	1.4	3.9
12. 景観の良いまち	0.5	2.1	4.6
13. 文化あふれるまち	0.5	1.2	2.8
14. 国際的に開かれたまち	0.9	2.6	2.7
15. 行政が身近なまち	0.6	0.9	2.7
16. 区民の個性が生きるまち	0.4	0.4	0.6
17. 障がいの有無や国籍などに関わらず誰もが暮らしやすいまち	2.8	2.3	4.6
18. 人や物の移動がしやすいまち	1.7	4.1	4.2
19. 多くの来訪者でにぎわうまち	0.4	0.5	0.9
無回答	0.9	1.3	1.5

■ 子育てについて

問4. 「少子社会への対応」に向けて、大田区はどのような課題に力を入れていくべきでしょうか。今後、より重点的に取り組みを進めるべき課題としてお考えのものを1位から3位まで1つずつ選び、番号を右欄にご記入ください。

n = 777

	1位	2位	3位
1. 保育園の増設、保育定員の拡大	26.0%	8.6	6.4
2. 保育料・教育費など金銭的負担の軽減	18.0	15.1	7.6
3. 出産直後の母子への支援	4.5	5.5	5.4
4. 地域で子育てを支える環境づくりの推進	8.2	7.7	5.1
5. 一時預かり保育や相談体制の充実など子育てに対する幅広い支援	5.8	11.6	10.2
6. 学力の向上など小中学校教育の充実	5.9	8.0	7.1
7. 低廉で良質なファミリー向け住宅の提供	2.7	3.7	4.8
8. 夜間保育など保育園の機能の拡大	1.0	4.1	5.4
9. 子どもが安心して過ごせる居場所づくり	11.3	13.8	13.6
10. 虐待やいじめの防止	7.9	8.0	10.8
11. 家事や育児、家族の余暇を充実させるワーク・ライフ・バランスの推進	1.8	3.9	6.4
12. 貧困など困難を抱える子育て家庭への支援	4.5	6.9	12.7
13. その他(具体的に:)	0.6	0.5	0.6
無回答	1.7	2.6	3.7

■ 教育について

問5. 「教育の充実」に向けて、大田区はどのような課題に力を入れていくべきでしょうか。今後、より重点的に取り組みを進めるべき課題としてお考えのものを1位から3位まで1つずつ選び、番号を右欄にご記入ください。

n = 777

	1位	2位	3位
1. 教師の質的な向上	34.0%	9.3	7.9
2. 国際感覚を養う海外文化との交流機会の提供	10.4	9.0	7.9
3. 体力向上の取り組み強化	8.2	8.6	9.0
4. 自然体験や職業体験など体験型学習の充実	9.8	14.3	10.6
5. 公立小中学校のクラス定員の小規模化	6.3	6.4	2.7
6. 不登校児童・生徒に対する支援強化	3.2	7.9	6.4
7. 小中学生に対するボランティアの奨励	2.6	5.8	6.0
8. 障がいのある児童・生徒に対する支援強化	3.5	5.5	7.7
9. 習熟度別クラスの拡充	2.7	5.8	5.1
10. 小中一貫教育の推進	3.1	2.8	3.9
11. 英語教育の充実	8.4	11.8	12.0
12. ICTを活用した教育の充実	2.4	4.0	5.0
13. 放課後の学習機会の提供	1.5	5.0	10.7
14. その他(具体的に:)	1.9	1.0	1.2
無回答	1.9	2.7	4.0

■ 高齢社会について

問6. 「高齢社会への対応」に向けて、大田区はどのような課題に力を入れていくべきでしょうか。今後、より重点的に取り組みを進めるべき課題としてお考えのものを1位から3位まで1つずつ選び、番号を右欄にご記入ください。

n = 777

	1位	2位	3位
1. ひとり暮らし高齢者への支援（見守り等）の強化	29.6%	12.5	12.4
2. 在宅で受けられる福祉・保健サービスの充実	17.2	21.6	12.4
3. 特別養護老人ホームなど入所施設の整備	17.8	13.3	10.7
4. 高齢者の就労を支援する仕組みの充実	9.7	11.3	10.4
5. 介護予防・健康づくり事業の充実	5.7	8.2	7.7
6. ボランティア活動など社会参加機会の拡充	1.7	4.9	5.3
7. 各種サービスのわかりやすい情報提供	6.6	9.5	10.7
8. 介護サービス事業者への指導・監督の強化	1.2	3.3	6.4
9. シルバー大学など知識や能力を向上する機会の拡充	1.0	3.6	4.0
10. 成年後見制度など高齢者を支える制度の適切な運用	0.6	2.3	2.6
11. 振り込め詐欺など高齢者を狙った犯罪の防止	3.2	3.3	7.2
12. 高齢者の住まいの確保	4.8	4.6	8.6
13. その他（具体的に：)	0.5	0.5	0.4
無回答	0.5	0.9	1.3

■ まちづくりについて

問7. 「住みよいまちづくり」に向けて、大田区はどのような課題に力を入れていくべきでしょうか。今後、より重点的に取り組みを進めるべき課題としてお考えのものを1位から3位まで1つずつ選び、番号を右欄にご記入ください。

n = 777

	1位	2位	3位
1. 建築物・道路・橋梁等の耐震性の強化	33.6%	10.6	8.5
2. 新空港線の整備(JR・東急蒲田駅と京急蒲田駅の接続)	16.1	8.9	6.7
3. 緑豊かな市街地の整備	9.0	11.2	8.6
4. 不法駐車・放置自転車に対する対応の強化	3.5	7.1	4.8
5. 市街地のバリアフリー(※)化	4.9	10.4	7.3
6. 大森・蒲田の駅前、地域のまちづくり拠点の整備	5.7	6.9	6.6
7. 密集住宅の解消	3.2	7.2	4.5
8. 空き家対策など住環境の向上	4.8	9.8	13.0
9. 文化施設や娯楽・レクリエーション施設の充実	3.1	5.9	6.2
10. 交通不便地域の解消	4.0	6.2	7.3
11. 区内幹線道路の混雑解消	2.1	3.9	4.1
12. 水上交通の活用	0.5	1.8	1.7
13. 地域住民の交流やスポーツ、健康づくりなどに活用できる公園づくり	2.2	3.0	7.6
14. 誰もが円滑に移動出来る交通ネットワークの整備	4.9	5.0	9.1
15. その他(具体的に:)	1.4	0.6	1.0
無回答	1.2	1.5	3.0

(※) 障がい者、高齢者などが社会生活を営む上で支障となる物理的、社会的、制度的、心理的な様々な障壁を取り除くこと。

問8. 世界でも有数の国際空港である「羽田空港」が立地する大田区ではどのようなまちづくりを進めていくべきでしょうか。今後、より重点的に取り組みを進めるべき課題としてお考えのものを1位から3位まで1つずつ選び、番号を右欄にご記入ください。

n = 777

	1位	2位	3位
1. 空港のポテンシャルを活かしたまちづくりの推進	16.1%	7.1	8.8
2. 大田区中小企業の特徴であるものづくりを活かした地域の活性化	20.5	15.4	9.5
3. 公園・緑地・水辺空間の創出などの開放的空間の整備	13.4	13.5	10.7
4. 商店街や商業施設などにぎわいのある地区の形成	11.6	19.2	12.1
5. 空港周辺の道路網整備など空港アクセス機能の向上	16.2	12.0	7.1
6. 新たな都市型景観や国際色あるまちづくり	2.7	6.2	7.5
7. 産業・ビジネス・文化などの国際的交流の支援	3.3	6.4	9.7
8. 空港周辺地域の航空機騒音等に対する生活環境の改善	7.2	8.1	8.2
9. 外国人観光客や外国人居住者に配慮したまちづくり	2.4	4.2	5.7
10. 文化財などの既存施設を含む観光の振興	1.4	3.2	7.6
11. 国内各地との連携による日本の魅力発信	2.1	1.8	7.7
12. その他(具体的に:)	1.3	0.4	1.0
無回答	1.8	2.4	4.5

■ 地域について

問9. 「地域力を活かした区政」に関して、大田区はどのような課題に力を入れていくべきでしょうか。今後、より重点的に取り組みを進めるべき課題としてお考えのものを1位から3位まで1つずつ選び、番号を右欄にご記入ください。

n = 777

	1位	2位	3位
1. 区民との連携による防犯・防災活動の充実	41.3%	16.6	9.0
2. 区民との連携による子育て支援・教育の促進	21.5	23.3	8.4
3. 区民との連携による高齢者・障がい者支援の促進	11.5	16.6	15.2
4. 区民との連携によるまちづくりの促進	4.9	8.2	10.6
5. 区民との連携による環境保全活動の促進	2.8	9.0	9.5
6. 区民が区政に参画する機会の充実	3.6	3.9	4.9
7. 自治会・町会等を通じた地域活動の促進	1.5	2.4	4.9
8. 元気高齢者の地域活動参画の促進	4.5	5.4	10.0
9. 区民との協働意識を持った区職員の育成の促進	3.3	5.9	7.7
10. 区民の自発的な活動を支援する施設の整備	1.2	2.1	5.4
11. 区民活動団体、NPO等の活動支援	1.2	2.1	4.0
12. 学びの成果を活かした地域活動の促進	1.2	2.3	6.7
13. その他(具体的に:)	0.1	0.4	0.1
無回答	1.4	1.8	3.6

■ 環境について

問10. 「環境問題」に関して、大田区はどのような課題に力を入れていくべきでしょうか。今後、より重点的に取り組みを進めるべき課題としてお考えのものを1位から3位まで1つずつ選び、番号を右欄にご記入ください。

n = 777

	1位	2位	3位
1. 区内事業所・商店による環境保全対策の促進	7.9%	4.6	5.0
2. 騒音・振動・悪臭などの対策の充実	22.9	10.7	7.1
3. 河川・運河の水質浄化	14.0	15.7	10.2
4. 地球温暖化の影響による気候変動への適応	18.3	10.0	7.9
5. 節電などの省エネ型行動の取り組み促進	3.0	6.7	5.8
6. 太陽光発電などの環境にやさしいエネルギー普及促進	7.3	11.7	7.2
7. 環境に配慮した製品や省エネ住宅の普及促進	2.4	4.8	5.5
8. 電気自動車などの低公害車の導入促進	1.8	2.7	3.2
9. マイカー交通から公共交通への転換の促進	2.1	4.6	3.6
10. 屋上緑地・壁面緑化の促進	3.7	6.2	8.2
11. 分別収集など資源のリサイクルの徹底	3.1	6.4	8.8
12. 環境情報の提供と区民等、事業者の環境配慮意識の向上	2.1	2.1	5.3
13. 次代を担う子どもたちの環境学習の充実	6.8	8.4	11.8
14. 環境活動に取り組む区民・団体・事業者等の育成と活動支援	2.6	2.8	6.7
15. その他(具体的に:)	0.5	0.1	0.3
無回答	1.5	2.4	3.5

■ 区政体制について

問 11. 「区民主体の区政実現」に関して、大田区はどのような課題に力を入れていくべきでしょうか。今後、より重点的に取り組みを進めるべき課題としてお考えのものを1位から3位まで1つずつ選び、番号を右欄にご記入ください。

n = 777

	1位	2位	3位
1. ムダを省いた効果的な予算編成の推進	40.8%	12.5	8.8
2. 申請手続などの簡素化・電子化	16.0	14.7	6.3
3. 職員の意識改革と職務遂行能力の向上	11.5	12.5	10.0
4. 施設のあり方の見直しを含めた区立施設の有効活用の促進	4.9	13.4	9.9
5. 安定的な財政運営	6.9	12.7	11.7
6. 民間委託など多様な主体によるサービス提供の促進	3.9	5.3	8.2
7. 職員数の見直しの推進	4.0	8.2	9.1
8. 既存事業の見直しなど行政評価システムの拡充	2.1	5.1	8.6
9. 区民の意見を区政に反映する制度の充実	4.0	7.9	13.1
10. 施設の使用料など適正な受益者負担の推進	1.2	2.2	5.4
11. 区政情報の発信強化やオープンデータの推進	1.9	2.2	3.6
12. その他(具体的に:)	0.4	0.1	0.5
無回答	2.6	3.2	4.6

■ 公共施設について

問 12. 大田区には学校、図書館、保育園、区民センターなど570余りの公共施設があり、全体的に老朽化が進んでいます。今後の公共施設整備の取り組みをどのように進めるべきでしょうか。あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。

(1つだけに○)

n = 777

1. 現状のまま建て替えや改修をすべき	14.9%
2. 施設が足りないので増やすべき	3.9
3. 利用が少ない施設を廃止して総数を減らすべき	10.9
4. 利用が少ない施設を廃止してニーズの高い施設に転用すべき	28.8
5. 一つの建物に複数の施設を入れて、建物の総数を減らすべき	16.0
6. 民間の施設と合築し、建設や運営のコスト削減を図るべき	22.7
無回答	2.8

■ 公民連携について

問 13. 大田区では区民協働の視点から、区民、区民団体、事業者等との連携を推進しています。今年6月には、地域課題解決に向けた新たな取り組みとして、民間企業（セブン&アイグループ）との包括連携協定を締結しました。大田区では今後の公民連携をどのように進めるべきでしょうか。あなたの考えに最も近いものを最大2つまで選んでください。

(1～2つに○)

n = 777

1.	自治会・町会や区民活動団体など、区民との連携をさらに強化すべき	15.7%
2.	区内のNPOや事業所、教育機関との連携を進めるべき	13.5
3.	民間企業の資源(人材・資金・ノウハウなど)を活用して、区政の効率化を図るべき	45.0
4.	公共施設と民間施設の一体化や、民間による柔軟な施設運営を導入することにより、区民サービスの向上を図るべき	49.9
	無回答	4.4

■ マイナンバー関連について

問 14. 国は、マイナンバーカード（※）の活用や行政手続の電子化などを一層進める方針を打ち出しています。このような中、大田区にどのような取り組みを期待するか、あなたの考えに近いものを選んでください。

（複数回答可）

※マイナンバーカードとは、申請した者のみ取得できるカードです。顔写真付きで、パスポートや運転免許証と同様に身分証明書としても使うことができます。

n = 777

1.	マイナンバー利用事務の範囲を広げ、各種申請や届出に必要な添付書類（例：住民票、非課税証明書など）を省略・簡略化できるようにする	28.4%
2.	マイナンバーカードの活用や行政手続の電子化は、個人情報の保護を最も重視して進めるべきである	39.8
3.	電子申請メニューを拡充し、自宅のパソコンからインターネットで手続や届出ができるようにする	17.6
4.	マイナンバーカードを図書館カードや施設予約カードとして利用できるようにする	9.0
5.	マイナンバーカードを区内の商店街等でポイントカードとして利用できるようにする	5.7
6.	マイナポータル（子育て、介護、引っ越しなど、複数の手続きをインターネットでまとめて行えるウェブサービス）を充実する	10.7
7.	特に期待しない	26.4
	無回答	3.1

問 15. マイナンバーカードの普及により、これまで特別出張所の窓口で行ってきた住民票や印鑑証明書の交付などが、お近くのコンビニエンスストアなどでできるようになっています。このような中、区内に 18 か所ある特別出張所の今後のあり方について、あなたの考えに最も近いものを 1 つ選んでください。

（1 つだけに○）

n = 777

1.	特別出張所の数も機能も現状のまま維持すべき	25.0%
2.	特別出張所の数は現状のまま窓口業務を拡充して、身近なところでより多くの行政手続きができるようにすべき	31.0
3.	特別出張所の数は現状のまま窓口業務を縮小し、職員を地域の活性化やコミュニティ充実のための業務に充てるべき	13.4
4.	特別出張所の数や窓口業務を縮小して、施設や職員を福祉やまちづくりなど他の施策に充てるべき	26.1
5.	その他（具体的に： _____ ）	1.8
	無回答	2.7

■ あなたご自身のことについて

F 1. 性別（1つだけに○）

n = 777

1. 男性	45.2%	2. 女性	53.5	無回答	1.3
-------	-------	-------	------	-----	-----

F 2. 年齢／あなたのお年は満でおいくつですか。（1つだけに○）

n = 777

1. 18～19歳	1.0%	4. 40～49歳	22.8	7. 70～74歳	9.4
2. 20～29歳	7.7	5. 50～59歳	15.2	8. 75歳以上	13.9
3. 30～39歳	13.0	6. 60～69歳	16.2	無回答	0.8

F 3. 本人職業／あなたのご職業は何ですか。（1つだけに○）

n = 777

A. 自営業	1. 商工サービス業	}	2.4%
	2. 農林水産業		0.1
	3. 自由業		4.4
B. 勤め人／パート・アルバイト含む	4. 管理職	}	F 3 - 1 へ 10.6
	5. 専門技術職		11.3
	6. 事務職		14.4
	7. 労務職・サービス職		16.3
C. 無職	8. 学生	}	F 4 へ 2.6
	9. 主婦		16.7
	10. その他（高齢者含む）		17.0
	無回答		4.1

（F 3で「1」～「7」と回答した方に）

F 3 - 1. 就業場所／あなたが仕事をしているところはどこですか。（1つだけに○）

n = 463

1. 大田区内（自宅）	11.0%	5. それ以外の東京都内	9.7
2. 大田区内（自宅外）	30.9	6. 神奈川県内	6.5
3. 品川・目黒・新宿・渋谷区内	17.1	7. その他（具体的に： ）	3.2
4. 千代田・中央・港区内	20.7	無回答	0.9

IV 資料編

F 4. 住居形態／お宅の住宅の種類は、この中のどれでしょうか。（1つだけに○）

n = 777

持ち家	1. 一戸建て	40.5%
	2. 中高層集合住宅	23.6
借家	3. 一戸建て	2.2
	4. 民間・木造アパート	5.5
	5. 民間・鉄筋アパート・マンション	18.9
	6. 都市再生機構（UR都市機構）・公社・公営の賃貸住宅・アパート	3.2
	7. 社宅・官舎	1.8
	8. 間借り・寮・住み込み	1.0
	無回答	3.2

F 5. 同居家族／現在一緒に暮らしているご家族の中に、このような方がいらっしゃいますか。あなたご自身を含めて、あてはまる方をすべてあげてください。（あてはまるものすべてに○）

n = 777

1. 未就学児(小学校入学前の子ども)	11.8%	4. 寝たきりの方や身体の不自由な方	5.7
2. 小学生	12.1	5. あてはまる人はいない	34.7
3. 65歳以上の方	43.1	無回答	2.2

F 6. 配偶者の有無／配偶者の方はいらっしゃいますか。（1つだけに○）

n = 777

1. いる	→ F 6-1へ	65.8%	2. いない（離・死別）	} F 7へ	13.5
			3. いない（未婚）		19.9
			無回答		0.8

（F 6で「1」と回答した方に）

F 6-1. 共働きの有無／お宅では共働きをされていますか。（1つだけに○）

n = 511

1. している	49.1%	2. していない	49.7	無回答	1.2
---------	-------	----------	------	-----	-----

F 7. ライフステージ／人間の人生にはさまざまな段階がありますが、現在のあなたご自身は、この中のどれにあたりますか。（1つだけに○）

n = 777

独身	1. 本人 18～39 歳	10.2%
	2. 本人 40～64 歳	8.2
	3. 本人 65 歳以上	6.3
子どものいない 夫婦	4. 本人 18～39 歳	3.0
	5. 本人 40～64 歳	5.5
	6. 本人 65 歳以上	2.7
子どものいる人 (別居も含む)	7. 一番上の子どもが入学前	7.6
	8. 一番上の子どもが小・中学生	10.8
	9. 一番上の子どもが高校・大学生	8.8
	10. 本人が 64 歳以下で、一番上の子どもが学校卒業	11.1
	11. 本人が 65 歳以上で、一番上の子どもが学校卒業	20.1
	無回答	5.8

F 8. あなたの家族構成は、次のどれにあたりますか。（1つだけに○）

n = 777

1. ひとり暮らし	16.6%	4. 親と子どもと孫（3世代家族）	6.7
2. 夫婦だけ（1世代家族）	22.0	5. その他（具体的に： ）	2.7
3. 親と子どもだけ（2世代家族）	50.7	無回答	1.3

最後までご協力をいただきまして、ありがとうございました。